



## ぎふの木ネット協議会 メルマガ

お知らせ イベント情報  
を発信します

### 吉田会長からの メッセージ



**岐阜県新知事誕生。  
行政の方向性とぎふの木ネットの方向性。**

#### 江崎県政スタート



岐阜県知事  
えさき よしひで  
江崎 禎英 氏

20年5期に亘る古田知事が退任され、江崎新知事による県政がスタートを切りました。前知事により岐阜県林政部が創られ、木の国、山の国としての礎が築られました。

江崎新知事は山県市出身であり、山や林業についても大変深い関心を持たれています。

#### 基本的な方向性

岐阜は日本のまん中にあり、伝統文化や観光資源も多くあり、食材も豊富である。東京に負けない魅力あふれる地方であります。ただ、若者や女性の流出が止まらず、人口減少が深刻化しております。「安心」と「ワクワク」に溢れ「人やモノが集まる岐阜県」を創るため、以下の10の目標の実現を目指すということです。

## 安心

- ① 若者や女性が持てる力を発揮できる働き方や職場をつくる。
- ② 子どもを産み育てやすい環境やサポートシステムをつくる。
- ③ お年寄りや障がいがある方が活躍できる場や居場所をつくる。
- ④ 災害などに強いインフラや医療・防災システムを整備する。
- ⑤ 鳥獣害のない里山を作り多様な価値を生む農業を推進する。

## ワクワク

- ⑥ 山林や堆肥などを活用したクリーンなエネルギーを供給する。
- ⑦ 中堅中小企業の生産性を高め伝統産業の価値を発信する。
- ⑧ 社会課題を解決し未来を拓く新たなビジネスや産業を生み出す。
- ⑨ 豊かな感性を育み多様な子どもと一緒に学ぶ教育を実現する。
- ⑩ 文化や芸術、スポーツなど人生を豊かにする活動を促進する。

これらを実現するために県民のアイデアを募集し優れた政策を選び出す「政策オリンピック」を実施し、県民参加型の政策立案を行い市町村と連携する。ざっとこんな感じです。この10の目標の中で我々に関連するものがいくつかありそうです。

### ④災害などに強いインフラや医療・防災システムを整備する。

まず地震対策です。特に南海トラフ地震は1600年以降ほぼ100年おきに起こっています。直近では終戦直後の1946年の昭和南海地震で1,300人ほどが亡くなっております。その後80年ほど経っており、確率的にはどんどん高まっています。又130年前にはマグニチュード8.0の濃尾震災が起こっており大変不気味な感じです。

#### ◆耐震から制震へ。そして仮設住宅対策を

能登半島地震の分析から余震による躯体ダメージも考慮し耐震のみならず制震へのシフトを考えるべきであり、仮設住宅建設の遅れによる住民の健康状態の低下を考えると、コンテナタイプの仮設住宅の供給体制やみなし仮設のリスト化を早急に整備する必要があります。



#### ◆V2Hや水の供給、蓄電池の活用

EVやPHV等利用して車と住宅との双方向的な電気の利用と再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせたシステムも災害時には効果的です。又雨水の利用等も必要かと考えます。

### ⑥山林や堆肥などを活用したクリーンなエネルギーを供給する。

県産材の使用を増やし、端材や林地残材を利用する木質バイオマス発電や高効率な小水力発電を更に普及させると同時にもう一度太陽光発電の拡大を目指す。今後、壁面等に利用可能なペロブスカイト型太陽発電に対しても一早く実行する。クリーンなエネルギーの利用のみならず省エネ機器への変更や住まいの断熱効果の向上こそが、脱炭素化や健康寿命の向上にも結び付きます。



### ⑦中堅中小企業の生産性を高め伝統産業の価値を発信する。

住宅産業や木材産業は古来から歴史を積み重ねている伝統的産業であります。又住宅に関する協力企業や山から消費者への木材サプライチェーンを通して経済に大きな影響力を保持しております。ただ古い産業故、昔からの慣習や不合理な流通形態も今尚存在している事も事実です。少子化の中でも、より快適で健康的な住まいや、オフィスや非住宅、店舗に対するニーズは存在すると考えます。

### ◆必要なのはデジタル化や流通合理化そして異業種タイアップ



生産性向上のキーワードはやはりまずデジタル化。

バーチャルでのショールームや展示会の開催、そして既存のビジネスモデルとのハイブリッド化。集客等には、チラシや新聞等のメディアよりSNSによる効率化が進んでおります。

ラインを利用した情報伝達やオンライン会議の普及も日常的になっています。更に物流改革は喫緊の課題です。運転手不足や脱炭素化の観点からも優先順位が高い項目です。

又伝統産業については岐阜県には、木材のみならず、繊維、石材、タイル、鉄、紙等多くの産業が存在しています。

異業種とのマッチングにより新しい価値を創造すれば、マーケットは飛躍的に拡大します。

### ⑧社会課題を解決し未来を拓く新たなビジネスや産業を生み出す。

この項目が我々のビジネスに最も関係すると考えます。社会課題の解決とビジネスの変革を同時化することが、未来型のビジネスモデルとなります。

#### ◆岐阜県の社会課題

人口減少 200万⇒150万時代へ

#### 空き家の利活用

現在全国900万戸の空き家が10年後に2,000万戸を突破する予測…

- 空き家にしない工夫（計画的メンテナンス制度、インスペクション、リノベ）
- 空き家対策（リフォーム対策後、県外、外国人の呼び込み、移住促進）



#### 多様性

- 高齢者、若者、女性、外国人が希望を持ち生き活きと活動できる社会の実現。（外国人、技能実習生から特定技能や高度人材利用等ステップアップ）

地域経済活性化（高齢者や家庭の主婦にはスポットワークの仕組みも）

- 魅力的な街づくり  
中心市街地の活性化（オフィスの木質化、独創的な店舗）  
街づくりプロジェクト…（若者が集る街づくり、コンセプトが明確なミニタウン開発、非住宅木質化）
- 県産材、サプライ、デマンドチェーン  
日本有数の木材資源を利用し、家具や空間創造等、構造、内装だけでなく高付加価値商品の開発
- 輸出  
岐阜県は、日本No.1の銘木集散地であるメリットを活用し、更に恵まれた観光資源を利用しビジネスツーリズム等により輸出を促進する。



## 脱炭素化&健康

### 木質化のメリット

木材によるCO2の固定化  
温度差のない住まい空間…木材の保温性や適切な断熱化により脳や心臓疾患を減少させ健康寿命2~3才伸長可能。

### 木材の香り効果

ストレスの軽減や免疫機能の向上  
認知機能の改善や作業効率の向上が見込まれる。



## ⑨豊かな感性を育み多様な子どもと一緒に学ぶ教育を実現する。

木材の香り効果や癒し効果が最大限の力を発揮します。又自然に近い木質空調の中で、子どもたちの健康や豊かな感受性を育むことはより可能となります。ほんの一例ですが、私たちのビジネスを社会課題の解決に結びつける事は多くの点で可能です。

私達木材、住宅産業が豊富な岐阜県の木材資源を活用する事で「人とモノが集り、安心とワクワクが溢れる地方の創生」に貢献する事が可能であると考えます。

是非、皆様と共により良い地方の実現を!!

Back Number



過去のメールマガジンはこちら

NEWS



新着情報はコチラ

